

「おたすけあいちゃん」について

～おたすけあいちゃん～とは 「地域たすけあいコーディネーター」からのお知らせ

ご高齢の方や障がいの方が日常生活で困ったとき、地域の中で支援が可能な方に家事や生活の困りごと、通院などのお手伝いをお願いする事業です。

支援の内容には次のものがあります。

- ☆福祉自動車「あいちゃん号」(有料の福祉移送)
- ☆サロン送迎支援(健康サロン、お茶のみサロンへの無料送迎)
- ☆家事・生活支援(ゴミ出し・掃除・草刈り・家庭菜園の耕運作業など、時間制有料)

☆家事・生活支援のための「マイカー移動支援」

今回は、これらの事業の内、令和5年度から新たに加わった『家事・生活支援のための「マイカー移動支援」』について、お知らせします。

<事業の概要>

「生活支援に付随した」移動支援、つまり、利用会員が自力では買い物などに行けない場合に、協力者のマイカーで自宅と目的地(スーパー・銀行・ホームセンターなど)の間を送迎するものです。(お店などで買い物の手伝いもできます)



料金 30分毎500円(チケット制)

上記の例では、所要1.5時間となるので500円×3=1,500円となります。

<ご利用について>

- 公共交通機関で移動できる方は、お受けできない場合があります。
- ご利用の際は、事前の登録・申し込みが必要です。
- 申し込みを受けてから協力者に依頼するため、急な申し込みにはお応えできないことがあります。

お問い合わせ・申込みは「七二会地域たすけあい」事務局まで 電話：229-2701

編集のつぶやき

新年がスタートしました。昨年は元日から能登半島地震という大災害で開けた年でしたね。今年はいったいどんな年になるのでしょうか？

今年の干支「巳」は金運上昇にご利益があるとよく聞きます。

どうか、災害がなく、金運に恵まれる1年となりますように。今年もよろしく願いいたします。



なにあいドットコム HPはコチラから→



七二会住自協 かわら版



令和7年
1月号

発行：七二会地区住民自治協議会 ☎ 262-1203

謹賀新年

新たな年に向けて

会長あいさつ



皆様にはお健やかに新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて昨年の元日には能登半島に於いて大規模地震があり改めて大災害の課題と対策について考えさせられる年の始まりとなりました。

平穩に暮らせることの大切さとありがたさを感じさせられます。

さて七二会地域は人口減少に歯止めがかからず、高齢化も着実に進んでいます。結果として地域体力・活力が低下傾向にあるようです。

一方で新たな七二会創造を発信する動きも見られるようになりました。暮に開催された“七二会サミット”では地域内外から様々な提案が行われ地域の未来に一筋の希望が見えた感じさえします。

信州大学によるソルガム実験栽培と製品開発、夏祭りによる集う場所の定着、ワイン用ブドウによる新たな産業創造、そして里山整備利用促進活動による地域景観の維持等様々な活動が報告されています。

このような活動が地域にどんな効果を生み、何をもたらしてくれるのか期待をしつつ、育てていくことが大切なのかなと思うところです。

これらを支えるうえで大切なことは、地域間のつながりであり、各団体の連携であり、人と人とのつながりであることは言うまでもありません。

新たな年を迎えて新たな活動を核とした“つながる七二会”にしていけたらと思うところです。

皆さんにとってこの一年が良い年となることをお祈り申し上げます。

七二会地区住民自治協議会

会長 山本 晴信

年末年始の業務ならびに「あいちゃん号」の運行について

令和6年12月28日(土)から令和7年1月5日(日)までの間、住民自治協議会の業務、ならびに、福祉移送車「あいちゃん号」はお休みとさせていただきます。

みなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。



9月26日（木）橋詰お茶のみ会 ～上橋詰区公民館にて～

いつものように朝8時からのゲートボールを行ってからのお茶のみサロン。
今回のサロンは、七二会里山整備利用推進協議会（通称：竹の会）の皆さんをお迎えして、竹ランタンづくりに挑戦しました。挑戦にあたっては事前に民生委員さんと竹の会にお邪魔をして、竹ランタンづくりを見学して、「これなら、橋詰お茶のみ会でも出来る！」と思い企画した次第です。お天気も良く、制作は野外で行いました。用意していただいた素敵な模様の型紙を選び、竹に当てて、ドリルドライバーで穴をあけていきます。男性陣の手際の良いこと！！女性陣も「意外と、こういう手先を動かすことは好きなのよ♪」と楽しそう！竹の中にLEDライトを設置して仕上げた後は、公民館へ場所を移し、お茶を飲みながら、竹ランタンに明かりを灯して、感激！！みんなで完成を喜び合いました。「我が家のどこに飾ろうか??」なんて声も聞かれました。

普段、私たちでは味わえない体験を準備の段階からきめ細かくご指導くださった竹の会（七二会里山整備利用推進協議会）の皆様、本当にありがとうございました。
（上橋詰区健康福祉推進員 山田 智加子）



10月18日（金）鳥谷峯お茶のみサロン ～矢沢公会堂にて～

この日は健康福祉推進員企画の健康講座を開催。今までの研修で学んだ介護予防の脳トレレクリエーションに皆さんと挑戦しました。

最初に住自協地域福祉ワーカーの山崎さんから『第3次七二会地区地域福祉活動計画』に絡めて、お茶のみサロンの大切さをお話いただきました。

その後、七二会フレッシュ体操で身体をほぐし、歌に合わせての手遊びや脳トレレクリエーションをしました。ペアを組んでのレクリエーションでは、皆さん真剣に目を大きくして、大いに盛り上がりました。また、とんち文字ではアッという間に答えが出てしまい、皆さんの頭の柔らかさに感心してしまいました。最後の大型絵本『きつねの電話ボックス』の読み聞かせでは、心身ともに温まりました。講座での体操や手遊びなど少しでも日常に取り入れて、毎日元気に楽しく過ごしていただきたいと思います。

（瀬脇区健康福祉推進員 白井 曜子）



～11月のかがやき健康サロン
『心あたたか 人形劇の世界』
が開催されました～

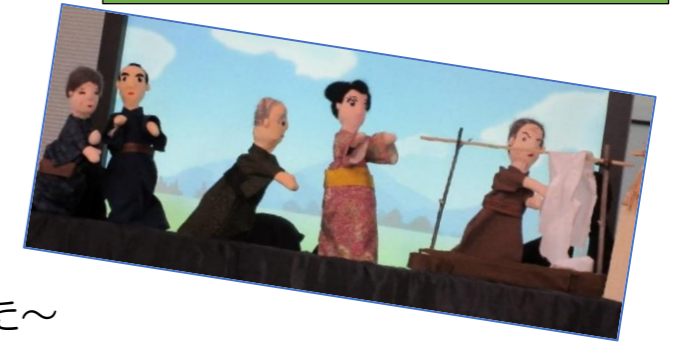
11月12日（火）市場会場：七二会支所 大会議室 『牛に引かれて善光寺参り』 11
月27日（水）瀬脇会場：かがやきひろば七二会（保育園隣接） 『かぐや姫』

11月は『心あたたか 人形劇の世界』と題して開催。劇団こころのふるさとの皆さんが手作りのお人形を用いて熱演してくださいました。

前座では物語から飛び出したお爺さんお婆さんが登場し、抱腹絶倒の漫才を披露してくれました。

市場会場では長野に伝わる民話『牛にひかれて善光寺参り』を鑑賞。昔から題名だけはよく耳にするけれど、初めてストーリーを知ったという方も多く、新鮮な気持ちで味わうことが出来たようで

瀬脇会場では七二会保育園の皆さんも交えて『かぐや姫』を鑑賞。大人も子どもも名作に惹きこまれました。上演後は実際に使用したお人形を触らせてもらい動かしやすいように工夫が凝らされていることに感心していた皆さんです。



「細かいところまで、よく出来ているねえ…」



クライマックス！
お婆さんが牛に善光寺へ
導かれるシーン



クライマックス！
かぐや姫が月へ帰るシーン



「人形劇を見せてくれて、ありがとう!!!」
保育園の子どもたちからお人形さんへ感謝のプレゼント